

《研究主題》 「子どもたちが主体的に学ぶ算数科学習」
～全員参加の授業を目指し、数学的な見方・考え方を育む～

《目指す子どもの姿》

- ・問い続ける姿
- ・多様な表現で考えたり説明したりする姿
- ・多面的、批判的に分析し判断しようとする姿
- ・数学的活動の楽しさを味わう姿
- ・数学のよさに気づく姿
- ・日常生活に活用しようとする姿
- ・学習に活用しようとする姿

主体的な姿

《全体共有の工夫》

- ・ 子どもの発言を途中で止める
- ・ ある子の発言を全体に問い返す
- ・ 全員に指差しや挙手をさせ、意思表示を促す
- ・ わかっている子に、まだわからない子への適切なヒントを考えさせる

《見方・考え方を働かせる姿》 算数アイテムの活用

①見通しの場面

「どんなアイテムが使いそうかな？」

②考えを全体で解釈し終えた後の場面

「今、どんなアイテムを使ったと思う？」

③授業最後の振り返る場面

「授業全体でどんなアイテムを使ったと思う？」

「1番大事なアイテムはどれだろう」

全員参加

見方・考え方

教材提示

《授業に参加する姿》

「考えてみたい!」とワクワクする姿

「面白そう」「考えてみたい」「やってみたい!」「できそうかも!」

(手立て)

○ズレを実感させ、問いをもたせる

- ・ゲーム化
- ・見通し、予想、きまり
- ・マスキング(数値、問題、図形の一部を隠す)
- ・オープンエンド
- ・他教科との関連やICTの活用
- ・友達の意見を見える化する。